

令和元年度 第1回宝達志水町青少年国際交流推進実行委員会 議事録

開会日程 令和元年5月21日(火)

会議場所 生涯学習センター「さくらドーム21」2階 第2会議室

出席者 北山委員長、松田副委員長、向瀬委員、水内委員、
葉佐委員、横山委員

欠席委員 西住委員

説明員 定免生涯学習課長、浅川課長補佐、丸山主事

開 会 午後7時00分

1 北山委員長あいさつ

2 委員の紹介・副委員長の選任について
北山委員長が副委員長に松田委員を選任

3 報 告

(1) 平成31年度青少年国際交流推進事業参加者募集要領について
丸山主事が資料に基づき報告した。

(2) 平成31年度青少年国際交流推進事業計画について
丸山主事が資料に基づき報告した。

4 議 件

(1) 派遣団員及び引率者の決定について

定免生涯学習課長が応募書類について補足説明し、委員によって選考・決定された。

(2) その他(今後の派遣事業実施体制について)

定免生涯学習課長が8月のオーストラリア訪問時に交流先の学校長・担当教諭と協議する旨説明した。

(派遣団員及び引率者の決定について委員の意見等)

説明	事務局 ○宝達中学校の協力で、合計10人の応募があった。 委員の皆さんに、事前に応募書類を審査し、評価シートに評価点を記入していただいた。評価シートの評価点を集計したところ、応募者全員が基準点を超えている。応募者10人全員を団員として決定してよいか。 引率者について、生涯学習課の職員を2人、宝達中学校から1人を予定している。団員の派遣と合わせて引率者についてもご審議いただきたい。
質疑	委員長 ○事務局の説明について、何かご意見・ご質問等ないか。
決議 審査	委員長 ○無いようなので、派遣団員10人及び引率者3人をオーストラリアに派遣することについて、賛成の方は挙手をお願いしたい。 全会一致で10人の団員と3人の引率者を決定とする。今年度この派遣団のメンバーで事業を進めることとする。

(事務局からその他について)

説明	事務局 ○1. 決定した団員名簿について配付した。宝達中学校3年生6人と2年生4人となる。 2. 2月の実行委員会で既に承認済みであるが、今後の派遣事業の実施方法について、8月のオーストラリア訪問時に引率3名が改めて交流先の学校長・担当教諭と協議したいと考えている。現在、町からオーストラリアへの派遣事業は毎年、オーストラリアからの受入事業は隔年で実施している。受入側が滞在中の費用を負担することになっており、オーストラリアの交流先は毎年、本町は隔年で経費を負担している。交流先の学校がこれまで通り毎年町の生徒の受入が可能であれば、予算がつく限り毎年派遣事業を実施していきたい。交流先が隔年での事業実施を希望した場合、第2回実行委員会で派遣事業の実施時期について委員の皆さんに検討していただきたい。事前に相手先にメールで確認したところ、毎年本町からの派遣団を受け入れできるという返答があったが、改めて訪問時に確認をしたい。
質問	委員長 ○事務局の説明について、何かご質問ないか。 無いようなので、現地で、派遣事業について協議してきてほしい。

(その他委員からの質問)

質問	委員 ○過去に、現地で団員の生徒が死傷病になり、緊急の対応を取ったことはあるのか。
回答	事務局 ○乗り物酔いや風邪気味の生徒は過去にいたが、死傷病になった生徒はいなかった。
意見	委員 ○知り合いの教員が海外に生徒を引率した際に、急性白血病を発症した生徒がいた。保護者には連絡をしたが、現地に駆け付ける前に生徒は息を引き取ってしまった。もし死傷病の事態があった場合、どのように保護者に連絡を取るか考えておいていただきたい。
回答	委員長 ○現地では何が起きるか分からないため、不測の事態でも慌てずに最大限の対応を取れるようシュミレーションしてほしい。医療保険など保障についても、万一に備えてきちんと連絡が取れるようにしてほしい。 事務局 ○保護者の連絡先はすべて把握し、緊急時にすぐに対応できるようにしたい。

閉 会 午後7時30分